

任命式&交流会

令和2年9月6日(日) 新館7階大会議室

9月6日(日)に、2020年度「滋賀県子ども県議会」子ども議員任命式を行いました。

子ども議員として選ばれた小学4年生から中学2年生までの25名が、知事から手渡された任命書を受け取りました。12月26日(土)に開催予定である子ども県議会に向けての活動がスタートしました。午後は、交流会として、これから共に活動していく友だちとアイスブレイクを通して交流し、その後、テーマ別のグループワークを行いました。はじめは、

緊張していた子どもたちもだんだん打ちとけ、「これからがんばっていこう」という子ども議員としての熱い思いが感じられました。



学習会①

ゲストの方をお招きして…

令和2年9月27日(日) 大津合同庁舎

各委員会のテーマについて、ゲストの方に来ていただきました。ゲストの方のお話を聞かせていただいたり、質問したりしました。テーマについて、様々な課題を考える貴重な時間となりました。ゲストの方から教えていただいたことを元に、グループのみなで課題について深めました。

【テーマ1】 ずっと住み続けたいと思う滋賀にするためには、どんなことが必要だと思いますか？



- 青木 樹志 さん (木工職人)
- 是永 宙 さん (結の里椋川)

青木さんと是永さんのこれまでの経験を伺い、「どうすれば滋賀県がさらに良く

なるか」「住みやすくなるか」についてグループで話し合いました。滋賀のこれからを考える際には、まずは自分が住んでいる地域のみなの「幸せ」「安心」を考えていく大切さを教えていただきました。



【テーマ2】 困っている人を助けられる社会にするためには、どんなことが必要だと思いますか？

滋賀県社会福祉協議会

地域福祉部門 はぐくみグループ

- 岩本 紀子 さん
- 黄瀬 絢加 さん



岩本さんと黄瀬さんから、『「ふ」だんの「く」らしの「し」あわせ』が、社会福祉協議会の役目であること、一人を助けることで、他にも助かる人がいることを教えていただきました。

「子ども食堂」のお話を中心に伺い、「みんなが楽しくいられる居場所」について考えました。

みんながつながることで、困ったときには、助け合えたり、楽しく過ごせたりすることを学びました。

【テーマ3】琵琶湖をはじめとする自然を思い描いたとき、これからどんなことが必要だと思いますか？

- 一伊達 哲 さん（滋賀県琵琶湖保全再生課）
- 武田 みゆき さん（淡海を守る釣り人の会事務局長）



一伊達さんと武田さんから、琵琶湖の現状やごみの状況を教えていただきました。「外来魚は減っているが、固有種は増えているとは言えない」というお話を聞き、具体的なアクションへとつなげるために、何ができるか考えました。



【テーマ4】多くの人に滋賀のことを知ってもらったり、来てもらったりするためには、どんなことが必要だと思いますか？

- 辻 良介 さん（滋賀県観光振興局）

滋賀県に来られる観光客の人数や状況、また、滋賀県内の観光地について教えていただき、より多くの人に滋賀に来てもらうために、どんなことができそうか、みんなで話し合いました。ちょっとした新しいお土産ができないか考えました。



【テーマ5】新型コロナウイルス感染症を経験して、これからの「学び」や「暮らし方」には、どんな工夫が必要だと思いますか？

- 小磯 浩司 さん（公立中学校教諭）
- 宮崎 僚子 さん（私立小学校教諭）



小磯さんと宮崎さんと一緒に、現在のそれぞれの学校の状況を交流し、コロナ禍において、どんな工夫ができるか、またどんなことを大切にしていこうのか話し合いました。コロナウイルスにより、いろんなことが変わった中で、新しい学びのスタイルのメリットとデメリットを考えました。



学習会②

ウィッシュ・ポエムを作ろう！

令和2年10月4日(日) 大津合同庁舎

今回の活動では、10年後の滋賀県をイメージし、「〇〇だったらいいのにな」「〇〇になったらいいのにな」といような思いや願いを、短冊にたくさん書き込みました。



子ども議員は、多様な発想で、テーマを超えたアイデアがたくさん出てきました。どのようなアイデアが出てきたのか、みんなで共有した後、グループのテーマごとに分類し、ウィッシュポエムを作りました。

ウィッシュポエムから、今の状況がどうなっているのか、そして、よりよい滋賀県にするためにはどうすればいいのか、その具体的な方法について、グループで意見を出し合いました。

そして、グループごとに作成したウィッシュポエムを、どのように整理したのか発表しました。子ども議員は、他のグループの意見も真剣に聞く様子が見られました。



「こんな滋賀県にしたい」という思いから、「でも、現状は〇〇である」「こんな課題がある」「どうしたら、良くなるか」「実現すれば、どんな良いことがあるか」と、一人ひとりが



が真剣に考えました。そして、より良い滋賀県になるためには、どうすればいいのか、その具体的な方法についても意見を出し合いました。このことが、今後の提案文づくりや子ども宣言へとつながっていきます。

学習会③

提案文づくりに取り組もう！

令和2年10月17日(土) 大津合同庁舎

今回の活動では、昨年度の子ども県議会のVTRを視聴しました。「子ども県議会」の雰囲気をつかむとともに、

「滋賀県の子どもの代表として、自分たちも子ども県議会にしっかりと臨もう」という気持ちを再確認しました。



また、子ども県議会では、提案をする役割だけではなく、議長や子ども宣言の発表など様々な役割があることを知り、自分がどの役割で頑張りたいのか、考えるきっかけとなり



ました。

そして、提案文づくりに入る前に、提案文の作成の仕方について、全員で学習しました。また、過去の先輩方の提案文を見ながら、より説得力のある提案

案文にするためのポイントをいくつか学びました。その後、提案文の元になるメモを項目ごとに書いていきました。その中で、足りないところや「こうしたらどうだろうか」と、子ども議員同士で話し合ったり、サポーターに意見をもらったりしました。

今回の学習会を終えて、もう少し必要なことを自分で調べたり、資料を探したり、インタビューをしたりして、提案文の完成に向けて取り組んでいきます。自分の思いを大切に、しっかりと考えをまとめて、素晴らしい提案文に仕上げてください。



学習会④

提案文と真剣に向き合って・・・

令和2年11月8日(日) 大津合同庁舎

今回の活動では、まず、子ども県議会当日に向けて、議長などの役割を決めました。また、多くの子ども議員が「当日ぜひ提案をしたい」と手を挙げました。

その後は、前回書き始めた提案文をグループで確認しながら、個人で、またグループの



友だちと一緒に提案文を作成していきました。共同で提案を作成する場合は、それぞれの思いを一つの提案文にしていくので大変ですが、しっかりと話し合いながら、書いていきました。

蒼いびわ湖の方やサポーターの方にまとめた原稿を見せようと、自分の思いがうまく表現できていなくて、何度も文章を足したり、書き直したりしました。その都度、アドバイスをもらいながら、自分の思いがしっかりと伝わるよう、粘り強く提案文の原稿作成に取り組んでいきました。終わりの時間までに完成できた子ども議員もいれば、持ち帰って、もう少し修正が必要な子ども議員もいましたが、一人ひとり、自分の思いを何とか伝えようと、一生懸命取り組む姿が見られました。

次回は、いよいよ最後の学習会となり、子ども県議会当日に向けてのリハーサルを行います。子ども議員それぞれが自分の役割をしっかりと果たし、自分の思いを県議会議場で堂々と発表できるよう、みんなで万全の準備をしていきたいと思っています。



学習会⑤

子ども県議会リハーサル

令和2年12月12日(土) 大津合同庁舎

今回で学習会も最終回です。子ども県議会当日に発表する提案や子ども宣言、議長の各担当で準備や打合せを行いました。提案をする子ども議員は、自分の提案文の中で強調したいところなどを確認しながら、何度も読む練習をしました。

子ども宣言については、宣言案を決定し、ポスターを作成したり、読む練習をしたりしました。

午後からは、子ども県議会に向けて、会議室を議場に見立て、当日をイメージしながらリハーサル



ルを行いました。本番の流れについて説明を受けた後、3人の議長の進行のもと動きを確認しました。特に、みんなで声をそろえるところやおじぎをするタイミングなど、一つひとつ確認しながら、リハーサルが進んでいきました。

話す声の大きさや速さ、抑揚のつけ方、姿勢、視線など、お互いに、良かったところや改善点を伝え合い、子ども議員同士で高め合う様子が見られました。また、サポーターからもアドバイスをもらい、当日に向けて、気持ちがさらに高まった様子でした。



これで、子ども県議会までの学習会がすべて終わりました。残すは、12月26日の子ども県議会当日のみです。一人ひとりが自分の役割をしっかりと果たし、思い出に残る「子ども県議会」にしてほしいと思います。

子ども県議会

令和2年12月26日(土) 滋賀県議会議場

25名の子ども議員は、9月6日(日)に、任命されて以来、5回の学習会を積み重ね、広い視野から滋賀について考えてきました。その活動の集大成として、滋賀県議会議場で、滋賀をよりよくするための提案や子ども宣言の発表を行いました。当日は、滋賀県議会100代目議長の細江正人様、厚生・産業常任委員会委員長の江畑弥八郎様にも来賓としてお越しいただきました。

子ども議員は、歴史ある県議会議場において、それぞれの役割を果たし、堂々と発言する様子が見られました。大変貴重な体験になったことでしょう。この子ども県議会の活動を通して学んだことや考えたことを、今後の生活において活かし、それぞれがよりよい滋賀にするために行動していってくれることを願っています。



細江議長あいさつ



江畑委員長あいさつ



今年度は、子ども議員から10の提案を行いました



知事はじめ関係部局長等に質問に答えていただきました



5つの子ども宣言を発表しました

